



## 作文1部

△ 全国農業協同組合中央会会長賞 △

### ゴミごめって言うてごめんね

湯沢市立湯沢東小学校 三年 武田 一花

私のじじとばばはお米を作っています。じじとばばからもらうお米には、黒いお米がいつぱいはいつぱいいます。私と妹は黒いお米をゴミが入っていると行っていました。そして黒いお米をすてていました。でも、白いお米と黒いお米がまざっているのは、どうしてだろうとふしぎに思いました。じじとばばに聞きました。

「どうして黒いお米になるの？どうして少しだけ黒いの？なんで黒くなっている所となっていない所があるの？」

じじが教えてくれました。

「いねがさがっているお米をカメムシがすう。おいしいところだけをすうから少しだけ黒くなる。なん千こもあるから、そのどれかをえらんですっているんだよ。」

と行っていました。お米がぜんめつするといけないから、

虫をころすためにくすりをまいていると教えてくれました。くすりをもっとたくさんまけば虫が全部しぬんじゃないのと言ったら、虫も食べないようなくすりがいつぱいのお米を食べたいか、と聞かれました。食べるのがこわいと思いました。黒いお米は食べてもだいじょうぶ、食べられるよとじじとばばが言っていました。

私は、今まで黒くなっているお米をすてていました。食べられるのに、今ですててごめんなさい。すてていたお米にたいして、本当にごめんなさいと思いました。

こんどからは、虫も食べるくらいおいしいお米だと思って、気にしないでおいしく食べます。妹にもゴミじゃなくておいしいお米だよと教えてあげます。ゴミごめと言っごめんなさい。おいしすぎて黒くなった金メダルごめだね。

